

令和 5 年 6 月 6 日現在

機関番号：11601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18H03600

研究課題名(和文) 震災アーカイブズを基盤とする複合型災害プラットフォームの日本国モデル構築

研究課題名(英文) Building a Japanese model for a complex disaster platform based on earthquake disaster archives

研究代表者

山川 充夫 (Yamakawa, Mitsuo)

福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員教授

研究者番号：00094285

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,230,000円

研究成果の概要(和文)：東日本大震災は未曾有の原子力事故を伴う複合災害である。災後10年を経ても避難指示区域が解除されず、3万人を超える住民が避難生活を強いられている。被災地域では国による放射能汚染土の除染やインフラ復旧が進められた。しかし放射線被曝による健康不安、生業再生の著しい遅れ、さらには生活利便性の改善が進んでいないため、故郷に愛着を持つ高齢者を除き、被災地への住民の帰還は進んでいない。避難者は避難所から仮設住宅、復興公営住宅へと生活拠点を移すたびに家族や地域社会との繋がりを失う困難に直面している。本研究ではこうした困難を「累積的被害」として概念化し、これを克服することが人間の復興につながることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究成果の学術的意義は「複合型日本国モデル」を確立するに必要な「災害経験知のパッケージ化」を図り、これを「原発事故後10年を問う」をメイン・テーマとする『福島復興学』(山川充夫・初澤敏生共編著、八潮社、2021年3月)として刊行したことにある。

研究成果の社会的意義は「災害経験知のパッケージ化」を踏まえ「複合型日本国モデル」のプラットフォーム化に取り組み、福島大学うつくしまふくしま未来支援センターと提携して「震災アーカイブズ」の準備を進め、その経験は福島県の東日本大震災・原子力災害伝承館に引継がれ、災害の現物・記録・記憶の収集・保存・整理・展示・伝承・教育・研究等の態勢づくりに貢献した。

研究成果の概要(英文)：The Great East Japan Earthquake is a complex disaster accompanied by an unprecedented nuclear accident. Even 10 years after the disaster, evacuation orders have not been lifted, and more than 30,000 residents are forced to live as evacuees. In the affected areas, the government proceeded with the decontamination of radioactively contaminated soil and the restoration of infrastructure. However, with the exception of the aged person, the return of residents to the affected areas has not progressed due to concerns about their health depends on radiation exposure, significant delays in reviving their livelihoods, and the lack of improvement in living convenience. Evacuees face the difficulty of losing ties with their families and communities each time they move from evacuation centers to temporary housing or public housing for reconstruction. This research conceptualizes these difficulties as "cumulative damage" and clarifies that overcoming them will lead to human recovery.

研究分野：経済地理学・地域経済学

キーワード：東日本大震災 原子力災害 福島復興 複合型日本国モデル 福島復興学 累積的被害 震災プラットフォーム 災害経験知

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

2011年3月11日に東北地方太平洋沖を震源とする Mw9.0 の巨大地震は巨大津波とともに東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染という人類史上未曾有の複合災害をもたらした。特に広域的な放射能汚染によって、福島県浜通りの双葉・相馬地域には避難指示区域が設定され、2013年5月には16.5万人が福島県内外に避難を余儀なくされた。その後、避難元への帰還や避難先への定住が進んでいるが、6年強を経てもなお5.8万人(2017年7月)が避難生活にあり、日本学術会議が復興原則の1つの柱として提言した日本国憲法による基本的人権が保障されていない。

原子力災害地の福島県の被災者支援については、「災害救助法」や「被災者生活再建支援法」の改正、「子ども被災者支援法」や「原発避難者特例法」などが制定され、原子力損害賠償も進められているが、被災者から訴訟が起こるなど、十分ではない。また被災地の復旧復興については、復興庁が設置され、「原発避難地域グランドデザイン」、「避難解除等区域再生計画」、「早期帰還定住プラン」、「福島復興の加速に向けて」などが次々と策定され、避難住民の帰還を加速するために、社会インフラの整備を進めている。しかし避難者の帰還希望率はむしろ下がっている。

政策と現実との乖離の拡大は、単に東日本大震災のみならず国内外の複合災害においても同様の事態が観察されている。特に被災者の帰還が進まないことは地域の復旧・復興に大きな影響を与える。地域の実態に即してその原因を把握し、現実と合致した政策を立案・実行していくことは、事前防災やBBB(Build Back Better)を考えるうえでも大きな課題である。

我が国においては地震・津波などの自然災害が国土の自然環境の性質上、避け得ないものとなっている。これらの自然災害は歴史文書や民間伝承を通じて語り継がれ、その一部については地理・地質学的に証明されてきた。さらに将来を見据えても様々な複合的脅威が見え隠れ、これらを災害科学として解明していくためには、さまざまな時間軸・空間軸を意識した複合的な研究・調査が必要である。

研究開始当初の背景は以上であるが、2020年10月8日から2023年3月31日までの間、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されており、研究期間の後半期において研究推進に必要な不可欠な現地調査(フィールドワーク)の実施が困難となった。

2. 研究の目的

日本学術会議の調査(2016)に拠れば、東日本大震災に関する調査研究は多くの専門分野で進められ、特に人文学・社会科学・生命科学・理学・工学分野を融合する複合領域が全体の3分の1をしめている。しかしながら、災害で得た経験を次の災害に活かすという調査研究の試みは少ない。それは災害経験知がパッケージ化、プラットフォーム化されておらず、得られた成果を社会実装することが困難であるからである。多分野における研究のパッケージ化を進めるにあたり、複合領域に位置する地理学の災害科学としての意味が問われている。

本研究の最終目的は、国内外の災害経験知を収集・分析・モデル化し、災害に強い社会、すばやく「より良い復興(build back better)」を進める社会基盤としてのプラットフォームの構築にある。具体的には、本研究は、近未来に襲撃が予想される地震や台風、火山噴火などを契機とする大規模複合災害に備え、被災者や被災地の被害を最小限にしてすばやく生活再建や地域復興するための災害経験知を「複合型日本国モデル」としてパッケージ化すること、本研究の成果としての「複合型日本国モデル」と被災者や被災地の被害状況と復興過程をアーカイブ化するプラットフォームの整備を追究し、国内外の研究者の交流を通じて世界の安全・平和と持続的発展に貢献すること、などにある。

本研究では、まず「複合型災害日本国モデル」を作成し、それを世界の他地域で検証できるかどうか、適用にはどのような修正が必要かを検討する。この際に重要な役割を果たすのがアーカイブズである。アーカイブズは単にモノや記憶を記録に残すだけでなく、それを基に研究を進め、様々な被災地の要請に合致する復興モデルなどをマッチングする機能なども求められる。そのためには恒常的な施設が必要である。

3. 研究の方法

本研究体制の特徴は、経済地理チーム、被災者支援チーム、防災チームを柱とし、これらを災害アーカイブズチームが包括し、災害経験知・復興支援知を体系的に収集することにある。この体制をとることによって、時間軸を加えた災害・復興情報の整理の水準は格段に向上し、研究チーム同士の横の連携がより密接になる。

経済地理チーム：大規模な災害は地域の産業基盤を破壊し、産業構造を大きく変化させる。被災地を取引先とする被災地外の企業は、生産を維持する観点から、受発注を被災地域外の企業に切り替えざるを得ない。こうした取引構造の変化は被災地の産業構造に縮小・偏倚をもたらし、被災地復興を遅らせることになる。このチームでは、東日本大震災被災地の福島県浜通り地域の事業所を対象にアンケート及びヒアリング調査を行う。また東日本大震災復興のために創設されたプッシュ型の福島相双復興推進機構の官民合同という活動に注目する。

被災者支援研究チーム：被災者は被災時だけでなく避難生活でも災害関連死等の様々な困難に直面する。このチームでは時間の経過とともに被災者が直面する課題の検討と解決手法の開発を通して、被災者の生活改善に寄与する。

防災チーム：このチームでは日本人の防災意識を向上させるための調査、分析、支援を行う。特に避難が遅れたために被害が大きくなった津波災害や豪雨災害などの事例を国内外から広く収集する。

アーカイブズチーム：以上の3チームの調査研究を「災害アーカイブズ」により包括する。災害アーカイブズとは災害記録の保全と保管を指す。このチームでは、災害アーカイブズ構築や後世への伝承に取り組むため、福島大学うつくしまふくしま未来支援センターと連携チームを結成し、事業の展開に向け、国内外事例を収集・調査する。そのうえで「複合型日本国モデル」の検証と改善に関する検討を行う。

以上が、研究開始当初の研究の方法であるが、2020年10月8日から2023年3月31日までの間、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されており、研究期間の後半期において研究推進に必要な不可欠な国内外の現地調査(フィールドワーク)の実施が困難となったため、研究方法の重点を文献調査やWebホームページ調査に移すこととした。

4. 研究成果

主たる研究成果の1つ目は、「複合型日本国モデル」を確立するために必要な「災害経験知のパッケージ化」を図り、これを「原発事故後10年を問う」をメイン・テーマとする『福島復興学』(山川充夫・初澤敏生共編著、八潮社、2021年3月)として刊行したことにある。

主たる研究成果の2つ目は、「複合型日本国モデル」のプラットフォーム化への取組については、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)と提携して「災害アーカイブズ」の準備を進め、そのコンセプトは福島県の東日本大震災・原子力災害伝承館に引継がれ、災害の現物・記録・記憶の収集・保存・整理・展示・伝承・教育・研究の態勢づくりに貢献した。

それらの概要は以下のとおりである。

- 第1は各種災害に係る文献研究や国内外の現地調査(フィールドワーク)を積上げることで、大規模自然災害とは異なる原子力災害の被害が避難所生活段階、仮設住宅生活段階、復興公営住宅・自宅再建生活段階において被害が縮小するどころか拡大していくことが明らかとなり、我々はこれを「被害の累積性」として概念化した。この概念化により国が進める「福島復興再生基本方針」や「避難12市町村ランドデザイン」を批判的に検討することが理論的に可能になり、生活再建、生業再開、帰還促進、ふるさと再生などにおいて被災者・避難者がおかれた実態を反映することを求める「もうひとつのふくしま復興」の考え方を提示した。(第1章 ふくしま復興ランドデザイン再考)
- 第2は国の原子力災害に対応する代表的な制度についての問題点を検証したことである。この検証から、日本の原子力災害への予算配分が放射能除染集約型であること(結果として土木事業偏重になった)原子力賠償制度の「中間指針」が「ふるさと喪失」などの被害実態に即していないこと(その後、最高裁判決を踏まえた修正が行われた)、エネルギー政策では再生可能エネルギーへの抜本的な転換や発送電分離が不徹底であり依然として原子力を重要な選択肢に残していること(その後、国のエネルギー政策の基本は震災前に戻った)、原発立地における自然的基盤の状況や住民避難対策において課題が残されていること(その後、老朽化した原発の再稼働が進んだ)などを明らかにした。(第2章 原発問題をとらえる制度的視角)
- 第3は被災者・避難者の人間復興の要である生活再建の方向性を提示したことである。被災者・避難者の生活再建には原子力災害によって社会的分断を余儀なくされた暮らしやコミュニティの実態を被災者・避難者に即して解明することがその支援の第一歩であり、本研究ではそれをコミュニティや家族の再生に向けて「生活世界からみた空間・時間と政策との接合」や「家族誌を書くことの意味とふるさとへの思い」に置いた。さらにそれをもう一歩進める方策として地域住民が中心となって創り上げる「ふるさと学習」の構築に家族やコミュニティ形成支援の可能性を見出し、川内村で実践した。(第3章 被災者の生活再建と被災地のコミュニティ再生)
- 第4は被災者・避難者の生活再建を本格的に進めるためには生業(なりわい)再開と雇用の確保が欠かせない。原子力災害による福島県内避難指示区域の地域経済循環の基軸は震災前では原発・火発の電気業であり、また震災後の復旧段階では建設業であったが、これらを通じて雇用は確保できたとしても地域の生業を再開することには直接的にはつながらない。国による「創造的復興」は福島イノベーション・コースト構想の事業化に見られるが、地域産業経済は農林漁業や中小企業といった地域と密着した生業再開や新産業創出がなければ容易には回復しない。例えば福島ロボットテストフィールドは南相馬市の製造業と連携の可能性はあるが、他方特定原子力施設である福島第一原発の廃炉事業には地元企業はほとんど参入できていない。いずれも分厚い国・県・市による立地補助金等で維持され被災地における自律的産業集積への道は遠いので、チェルノブイリ原発廃炉とウクライナ・スラブチチ市の地域経済再生の教訓を踏まえた「拠点となった自治体を守る特例政策」は欠かせない。(第4章 被災地の産業再生と雇用創出)
- 第5は「複合災害型日本国モデル」をいかにプラットフォーム化していくかであり、われわ

れは東日本大震災福島原子力災害から何を教訓として学びそして将来に向けての地域づくりにどのように活かしていくべきであろうか。そのために今なすべきことは何よりも震災・津波・原子力災害にかかわる事故・被害・避難・帰還・復旧・復興に関する記憶と記録を「震災アーカイブズ」として取り纏めることであり、これを防災教育や防災・減災まちづくり(より良い復興 Build Back Better)に生かすことである。前者については福島大学うつくしまふくしま未来支援センターと連携して準備を進め、2020年9月に開業した福島県の東日本大震災・原子力災害伝承館における震災アーカイブズの態勢づくりに貢献した。また後者については防災教育教材「サステナブル」の開発に関与した。(第5章 震災アーカイブズと防災・減災まちづくり)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計135件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 27件）

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 144
2. 論文標題 福島原発災害・復興10年を検証する視点	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 季刊「消防防災の科学」	6. 最初と最後の頁 26-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 6
2. 論文標題 ふくしま原発災害とふるさと創造学/未来創造学	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 30-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 -
2. 論文標題 福島原発災害復興と浜通りの建設業経営	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 FURE年報（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）	6. 最初と最後の頁 144-153
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 4
2. 論文標題 ふくしま復興とイノベーション・コースト構想	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 50-71
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 -
2. 論文標題 原発被災からの再生・再建	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『未来からの問い 日本学術会議100年を構想する』日本学術会議	6. 最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 15
2. 論文標題 原発事故とふくしまの復興課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本災害復興学会論文集	6. 最初と最後の頁 66-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 5
2. 論文標題 原発事故避難生活 6年間の想い	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 63(1)
2. 論文標題 原発避難者の生活再建と被災地の地域経済復興	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ATOMO	6. 最初と最後の頁 55-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 26(3)
2. 論文標題 特集 原発事故被災から10年 被災者の生活再建、心の回復と被災地の再生に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 14-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 -
2. 論文標題 福島原発事故と復興政策 10年間の検証	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 防災学術連携体 東日本大震災からの十年とこれから	6. 最初と最後の頁 76-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 50(1)
2. 論文標題 東日本大震災原発災害と福島県内経済主体への影響 福島県民経済計算の制度部門別所得支出勘定から 前編	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 財界ふくしま	6. 最初と最後の頁 161-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 51(1)
2. 論文標題 東日本大震災原発災害と福島県内経済主体への影響 福島県民経済計算の制度部門別所得支出勘定から 後編	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 財界ふくしま	6. 最初と最後の頁 161-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 56(1)
2. 論文標題 書評 西野寿章「日本地域電化史」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 産業研究	6. 最初と最後の頁 60-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 39/40
2. 論文標題 日本地域経済学会30年の回顧と展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 地域経済学研究	6. 最初と最後の頁 81-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 50(2)
2. 論文標題 東日本大震災の教訓をどう活かすか 復興の現場からの提言	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 環境情報科学	6. 最初と最後の頁 11-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 3
2. 論文標題 東日本大震災10年 ふくしまから見えてくる復興のいま	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 f visions (アジア女性資料センター)	6. 最初と最後の頁 12-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 99 (16)
2. 論文標題 原発廃炉 24基の後始末 原発の「大量廃炉時代」に突入 地元を直撃する雇用減と税収減	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 エコノミスト	6. 最初と最後の頁 33-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 2134
2. 論文標題 福島第一原発「廃炉」をめぐる法的空白点 : スリーマイル、チェルノブイリの法制度に学ぶ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 時の法令	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 86
2. 論文標題 「廃炉時代」の地域を守るために 住民主体の廃炉監視に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 実践自治	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 701
2. 論文標題 廃炉中も続く使用済燃料リスク : 地域社会からの廃炉監視を	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 住民と自治	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SETO Masayuki	4. 巻 130
2. 論文標題 Collecting Damaged Materials and Archiving the Fukushima Nuclear Disaster	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Geography (Chigaku Zasshi)	6. 最初と最後の頁 303 ~ 309
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5026/jgeography.130.303	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 TAMURA Toshikazu, SETO Masayuki	4. 巻 130
2. 論文標題 Settlement Location and Relocation History of a Tsunami-prone Area in Northeastern Japan: Differential Selection in the Use of Geomorphic Resources	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Geography (Chigaku Zasshi)	6. 最初と最後の頁 261 ~ 287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5026/jgeography.130.261	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 507
2. 論文標題 東日本大震災後の商工業事業所の対応とBCP (事業継続計画) 整備状況ー福島県南相馬市原町地域を事例としてー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 月刊地球	6. 最初と最後の頁 685 ~ 688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 33 (2)
2. 論文標題 COVID-19の流行が修学旅行に与えた影響	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 47 ~ 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 避難者支援をめぐるいくつかの問題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 FURE年報（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）	6. 最初と最後の頁 100～104
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生・森あやね	4. 巻 6
2. 論文標題 ふくしま円盤餃子の観光化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 フードツーリズム研究	6. 最初と最後の頁 17～22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 服部未来子・初澤敏生	4. 巻 33（1）
2. 論文標題 地域における伝統的行事の機能と位置づけに関する一考察－福島県須賀川市のきうり天王祭を例に－	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 33～47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本典嗣	4. 巻 50
2. 論文標題 被災3県における仏教寺院の存立構造とその変容 - 岩手県・宮城県・福島県を事例として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 仏教経済研究（駒澤大学仏教経済研究所）	6. 最初と最後の頁 57～76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤本典嗣	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災における曹洞宗寺院の立地分析・圏域人口・級階・級階変化を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 FURE年報（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター）	6. 最初と最後の頁 105～113
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 52
2. 論文標題 原始・古代の自然災害 - 遺跡・文献にみる災害とそれへの対応 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 郡山地方史研究	6. 最初と最後の頁 1～22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 41
2. 論文標題 COVID-19 禍における公共交通利用減少の構造 - 山形市のケーススタディ -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 交通工学研究発表会論文集	6. 最初と最後の頁 665～670
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 770
2. 論文標題 MaaS構築の視点と地域金融への期待	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金融ジャーナル	6. 最初と最後の頁 94-95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 TAKEUCHI Ryusuke、YOSHIDA Itsuki、INOI Hiroto	4. 巻 76
2. 論文標題 A STUDY ON PRODUCTIVITY AND COST STRUCTURE OF TRANSPORTATION PASSENGER SERVICE WITH PRIVATE CAR (PARATRANSIT)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. D3 (Infrastructure Planning and Management)	6. 最初と最後の頁 I_1035 ~ I_1045
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejipm.76.5_I_1035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 69(12)
2. 論文標題 都市自治体に求められる地域公共交通政策 - 地域公共交通関連法改正をどう生かすか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 市政	6. 最初と最後の頁 26-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 -
2. 論文標題 被災地再生とモビリティイノベーション	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福島復興学 (山川充夫・初澤敏生編著), 八朔社	6. 最初と最後の頁 338-359
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 -
2. 論文標題 復興の地域モビリティ政策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福島復興10年間の検証(川崎興太編著), 丸善出版	6. 最初と最後の頁 171-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内龍介・吉田 樹・猪井博登	4. 巻 76(5)
2. 論文標題 自家用車を活用した輸送サービスの生産性及び費用構造に関する研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 土木学会論文集D3	6. 最初と最後の頁 I_1035-I_1045
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 福島県内自治体の「作業員」への対応と川内村における除染事業主体の取り組み	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 吉原直樹・山川充夫・清水亮・松本行真編『東日本大震災と 自立・支援 の生活記録』六花出版	6. 最初と最後の頁 248-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 大分県	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 松井秀郎編『1964年と2020年 くらべて楽しむ地図帳』山川出版社	6. 最初と最後の頁 212-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 記憶の継承、当事者と関係者の役割 旧満洲大日向村	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学 』八朔社	6. 最初と最後の頁 402-423
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤彰彦	4. 巻 -
2. 論文標題 大規模災害からの復興と暮らし・コミュニティ再生	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大規模災害からの復興と暮らし・コミュニティ再生」山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 172-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三村 悟	4. 巻 -
2. 論文標題 防災・減災まちづくり	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学II』八朔社	6. 最初と最後の頁 448-461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 原子力災害被災地における商工業復興	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 吉原直樹ほか編『東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録』六花出版	6. 最初と最後の頁 148-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 避難児童が取り組む「ふるさと学習」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 庄司美樹ほか編『アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学』六花出版	6. 最初と最後の頁 150-161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 地域住民が中心となって創り上げるふるさと学習	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫ほか編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 226-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 原発事故被災地域における生業の現状	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫ほか編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 295 - 316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 4(6)
2. 論文標題 東日本大震災後の福島県産農産物の動向と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アグリバイオ	6. 最初と最後の頁 33-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 55(7)
2. 論文標題 東日本大震災後の福島県における農・水産業の動向	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本の科学者	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田浩久・宮原育子・櫛引素夫・林玉恵・山口泰史・初澤敏生	4. 巻 66(3)
2. 論文標題 Post COVID-19に向けた東北の観光戦略	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Post COVID-19に向けた東北の観光戦略、経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 15-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野木勝弘・初澤敏生	4. 巻 32(2)
2. 論文標題 「未来の創り手」を育てる小学校社会科の授業	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 25-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 Some characteristics and problems of the earthquake education practices in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター研究年報	6. 最初と最後の頁 70-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の経験と生活史 家族誌を書くことの意味とふるさとへの思い	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 203-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 -
2. 論文標題 体験的継承から対話的継承へ 長崎原爆資料館	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 長崎原爆資料館」蘭信三・小倉康嗣・今野日出晴編『なぜ戦争体験を継承するのか』みずき書林	6. 最初と最後の頁 278-287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 -
2. 論文標題 過去への欲望 人々は過去に何を求めるのか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 木村至聖・森久聡編『社会学で読み解く文化遺産』新曜社	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の記憶を残す活動と震災遺物保存の意味：福島県を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 吉原直樹・山川充夫・清水亮・松本行真編『東日本大震災と 自立・支援 の生活記録』六花出版	6. 最初と最後の頁 665-685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大平佳男	4. 巻 -
2. 論文標題 エネルギー政策と再生可能エネルギー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 126-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大平佳男	4. 巻 5
2. 論文標題 再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消の取組みに向けた一考察 福島県葛尾村を事例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 48-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介・阿部百花	4. 巻 32 (1)
2. 論文標題 東北地方における活断層近傍の鉄道路線分布の調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介	4. 巻 -
2. 論文標題 東京都心における、激震発生予測ゾーンの避難条件に関する研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学研究年報	6. 最初と最後の頁 92-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介・香内彩夏	4. 巻 4
2. 論文標題 14万7000フライトの分析に基づく日本の主要空港発着便における欠航率の特徴	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際ICT利用研究会論文誌	6. 最初と最後の頁 3-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介	4. 巻 -
2. 論文標題 原発立地基盤と今後の自然災害へ備え	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 157-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 111(2021年冬号)
2. 論文標題 東日本大震災から10年～復興の向こう側にあるもの	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 NETT	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 2021年3月号
2. 論文標題 大規模災害と避難所をめぐる現状と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人権と部落問題	6. 最初と最後の頁 13-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 川内村でのオルタナティブ教育を軸にしたコミュニティ形成支 援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 235-244
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災の教訓を活かす防災教育教材の開発について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 416-447
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本典嗣 (N.Fujimoto)	4. 巻 -
2. 論文標題 The Change in Industrial Structure of Fukushima before and after the Nuclear Accident : 10 years later '	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 1st Croatia-Japanese conference : Contemporary problems in economies	6. 最初と最後の頁 88-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本典嗣	4. 巻 -
2. 論文標題 予算制約と被災地復興政策-除染集約型予算配分の特殊性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 -
2. 論文標題 事故原発廃炉の拠点となった自治体を守る特例政策 チェルノブイリ原発廃炉とウクライナ・スラブチチ市	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 245-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 尾松 亮	4. 巻 26 (3)
2. 論文標題 原子力防災における緊急避難支援要員の法的位置づけ チェルノブイリ法を参考に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 -
2. 論文標題 「震災資料の保存 収集の実際とその後	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 山川充夫・初澤敏生編著『福島復興学』八朔社	6. 最初と最後の頁 360-383
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸真之	4. 巻 403
2. 論文標題 福島における震災アーカイブズの構築と資料収集の方針	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 カレントアウェアネス-E	6. 最初と最後の頁 E2326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸真之	4. 巻 582
2. 論文標題 空中写真で見る東日本大震災・原子力災害伝承館	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 地図中心	6. 最初と最後の頁 24-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 36
2. 論文標題 原発災害復興ジレンマと日本学会議提言	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域経済学研究	6. 最初と最後の頁 49-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 3
2. 論文標題 原発事故による被災企業への営業損害賠償の推移と課題 福島県南相馬市原町区の場合	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 193-2
2. 論文標題 原発事故避難指示区域の商工業復興支援のあり方 官民合同チームの意味	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都大学経済学会・経済論叢	6. 最初と最後の頁 59-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 24-9
2. 論文標題 東日本大震災・原発災害と学術調査研究アーカイブ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 10-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川 充夫	4. 巻 4
2. 論文標題 ふくしま復興とイノベーション・コスト構想	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 50-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山川 充夫	4. 巻 -
2. 論文標題 原発災害復興と地域経済循環 福島県民経済計算「統合勘定」からみる	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター年報	6. 最初と最後の頁 72-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 344
2. 論文標題 次世代交通に求められるコラボラティブ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 6
2. 論文標題 地方小都市における乗用タクシーの定額制サービス導入可能性の検討 - 福島県南相馬市のケーススタディ -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 交通工学論文集	6. 最初と最後の頁 A_183 ~ A_189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14954/jste.6.2_A_183	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 342
2. 論文標題 積雪寒冷地における生活交通の確保 - 冬季の地域公共交通が抱える課題と新たなモビリティへの期待	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 66-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 110(3)
2. 論文標題 地方分権と地域公共交通 - 自家用有償旅客運送を例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 44-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木亨	4. 巻 -
2. 論文標題 被災地にある大学だからできる支援例 熊本学園大学ボランティアセンターの活動から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 (一財)私学研修福祉会・日本私立大学協会 2019年度(第65回)学生生活指導主務者研修会報告書	6. 最初と最後の頁 133-188
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石渡幹夫・Nicholas Pinter・田中由美子・野々口敦子・三村悟	4. 巻 23
2. 論文標題 災害対策としての移転事業の日米比較調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際地域学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 36
2. 論文標題 福島県南相馬市原町地域における東日本大震災後の建設業の動向	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地域経済学研究	6. 最初と最後の頁 18-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 137
2. 論文標題 社会科と家庭科が連携しての防災学習の深化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会科教育研究	6. 最初と最後の頁 153-155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤由莉・初澤敏生	4. 巻 31-1
2. 論文標題 大規模災害時の二次避難所の運営とその課題に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 69-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田辺弥恵子・初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 学習指導要領の記述に見る学校教育における防災教育の移り変わり；中学校社会科を例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター年報	6. 最初と最後の頁 62-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介・関沼 駿	4. 巻 29
2. 論文標題 仙台市街地における長町-利府線断層帯直上の建物分布の調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学人間発達文化学類論集	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金子 彩・中村洋介	4. 巻 31
2. 論文標題 東日本主要温泉地35箇所における足湯施設の諸比較	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 169-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介	4. 巻 15
2. 論文標題 地球温暖化に伴う、花崗岩地域の斜面災害に関する研究 (西日本の事例を福島県に)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学研究年報	6. 最初と最後の頁 58-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 川内村におけるコミュニティ形成に関する研究 オルタナティブ教育の取り組みを中心として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター年報	6. 最初と最後の頁 78-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 3
2. 論文標題 震災関連資料収集の取り組み - 福島県の場合 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 災害文化研究	6. 最初と最後の頁 17-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 66-3
2. 論文標題 福島第一原発事故と東日本大震災の記憶を残す活動 資料調査・収集現場における空間の考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会志林	6. 最初と最後の頁 75-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘	4. 巻 31-1
2. 論文標題 福島県における東日本大震災の記憶を残す活動とアーカイブ拠点施設の構築 原子力災害(原発事故)を伝える資料の特徴と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学地域創造	6. 最初と最後の頁 59-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 深谷直弘・柳沼賢治・桑折美雪・梅津彩音・根本美佳	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災・原子力災害伝承館開館に向けた資料収集業務 3年間を振り返って	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター年報	6. 最初と最後の頁 84-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸真之	4. 巻 24-9
2. 論文標題 東日本大震災における災害資料のアーカイブ化とその役割	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学術の動向	6. 最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸真之	4. 巻 -
2. 論文標題 大槌町震災記録誌第3章	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大槌町編『大槌町震災記録誌』	6. 最初と最後の頁 26-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木亨	4. 巻 -
2. 論文標題 「満洲大日向村」を訪問して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 舒蘭会友好訪中団の記録	6. 最初と最後の頁 58-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木亨	4. 巻 -
2. 論文標題 三つの大日向 (佐久・満洲・軽井沢)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 舒蘭会友好訪中団の記録	6. 最初と最後の頁 94-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 三宅島-噴火からの復興	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 平岡昭利・須山聡・宮内久光編「図説日本の島 76の魅力ある島々の営み」朝倉書店	6. 最初と最後の頁 30-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 -
2. 論文標題 大きな地域課題からの地域ブランド再生-熊本県水俣市-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 牧瀬稔編著「地域ブランドとシティープロモーション」. 東京法令出版	6. 最初と最後の頁 26-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤本典嗣	4. 巻 -
2. 論文標題 再生可能エネルギーの送配電自立型導入の事例-屋久島の電力事業-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 川崎興太編「環境復興:東日本大震災・福島原発事故の被災地から」八朔社	6. 最初と最後の頁 95 - 106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 地方創生事業における大学の連携 - 福島県玉川村 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 山田浩久編『地域連携活動の実践 - 大学から発信する地方創生』海青社	6. 最初と最後の頁 149-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 研究室の地域づくりへの参画 - 福島県石川町 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 山田浩久編『地域連携活動の実践 - 大学から発信する地方創生』海青社	6. 最初と最後の頁 67-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 福島県における被災地の実態と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本社会科教育学会編『社会科教育と災害・防災学習 - 東日本大震災に社会科はどう向き合うか - 』明石書店	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 初澤敏生	4. 巻 -
2. 論文標題 序に代えて - 社会科は災害・防災学習にどのように役立てられるのか?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本社会科教育学会編『社会科教育と災害・防災学習 - 東日本大震災に社会科はどう向き合うか - 』明石書店	6. 最初と最後の頁 5-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 -
2. 論文標題 脱原発社会への道筋を阻むもの	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 鈴木康弘・山岡耕春・寶 馨編著『おだやかで恵み豊かな地球のために 地球人間圏科学入門 』古今書院	6. 最初と最後の頁 199-211
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介	4. 巻 -
2. 論文標題 北部九州における未知の活断層の検出と既存活断層の再評価	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 H30年度福島大学研究年報	6. 最初と最後の頁 69-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村洋介・島崎麻衣	4. 巻 2
2. 論文標題 福島県いわき市の住民を対象とした地震防災意識調査	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際ICT利用研究学会論文集	6. 最初と最後の頁 3-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 -
2. 論文標題 東日本大震災と関連資料の収集 福島県の取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 災害資料学の実践的研究 阪神・淡路大震災の知見を基礎として	6. 最初と最後の頁 5-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 90
2. 論文標題 福島における東日本大震災関連資料の収集・保存をめぐる現状と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 史料ネット News Letter	6. 最初と最後の頁 3-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柳沼賢治	4. 巻 -
2. 論文標題 福島県における東日本大震災関連資料収集の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 文化財防災ネットワーク推進機構 地域の文化財防災に関する研究会報告書 第4回全国史料ネット研究交流集会	6. 最初と最後の頁 62-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸真之	4. 巻 63-4
2. 論文標題 原子力災害 - 現在進行中の災害を記録するには -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 地理	6. 最初と最後の頁 46-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 天野和彦	4. 巻 2018
2. 論文標題 復興の向こう側にあるもの 連携復興センターの取り組み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本災害復興学会	6. 最初と最後の頁 12 - 15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 2019 - 1
2. 論文標題 「地域共生のまちづくり 他者との共生 」終えて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 広報ひろの	6. 最初と最後の頁 24 - 25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 53
2. 論文標題 福祉環境学入門 水俣現地研修	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 水俣学通信	6. 最初と最後の頁 53 - 53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高木 亨	4. 巻 73
2. 論文標題 熊本学園大学ボランティアセンターの仕事	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 くまもと わたしたちの福祉	6. 最初と最後の頁 2 - 4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大平佳男	4. 巻 平成30年度
2. 論文標題 公共施設における再生可能エネルギー設備の導入に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター年報	6. 最初と最後の頁 78 - 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 42 - 2
2. 論文標題 旅行者と地域を結びつける公共交通の可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光文化	6. 最初と最後の頁 8-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 57
2. 論文標題 地方都市におけるタクシー事業の課題と移動手段確保策による活性化の可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集 (CD-ROM)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 334
2. 論文標題 合併自治体における地域公共交通政策と今日的課題 東北・関東地方におけるケーススタディ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 30 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 709
2. 論文標題 超高齢社会の移動手段確保に求められる自治体の役割	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊自治研	6. 最初と最後の頁 26 - 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 53 - 3
2. 論文標題 地域公共交通の供給制約を考慮した原発事故避難地域におけるモビリティ確保策の検討 - 福島県南相馬市におけるケーススタディ -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1393-1398
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.1393	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 I. Yoshida	4. 巻 2018
2. 論文標題 POSSIBILITY OF "LAST ONE MILE" MOBILITY UTILIZING TAXI SERVICES IN LOCAL CITIES OF JAPAN	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc. TRANSED2018 (CD-ROM)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹内龍介, 吉田 樹, 伊藤正宏, 中村卓央	4. 巻 58
2. 論文標題 地域公共交通サービスの導入プロセスとその効果に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 土木計画学研究・講演集 (CD-ROM)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 37 - 3
2. 論文標題 農山村地域のくらしを支えるモビリティの課題と「解」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 268-271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 110 - 3
2. 論文標題 地方分権と地域公共交通 - 自家用有償旅客運送を例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 44 - 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吉田 樹	4. 巻 5(2)
2. 論文標題 運用面のアプローチによる大都市の観光バス駐車対策に関する研究 - 東京都台東区浅草地域のケーススタディ -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 交通工学論文集	6. 最初と最後の頁 125 - 133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫・山川ゼミナール	4. 巻 2
2. 論文標題 宇都宮市オリオン通りへの事業提案	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究年報	6. 最初と最後の頁 80-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 2
2. 論文標題 東日本大震災福島復興祈念公園 基本コンセプトとしての原子力災害はどう描かれるか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究年報	6. 最初と最後の頁 84-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 64-2
2. 論文標題 東日本大震災と社会経済復興パラダイム 熊本震災を射程に入れて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 経済地理学年報	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 2382
2. 論文標題 原発集団訴訟と日本学術会議提言 前橋判決における避難継続の合理性の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 判例時報	6. 最初と最後の頁 120-137
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 3
2. 論文標題 原発事故による被災企業への営業損害賠償の推移と課題 福島県南相馬市原町区の場合	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 帝京大学地域活性化研究センター年報	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山川充夫	4. 巻 193-2
2. 論文標題 原発事故避難指示区域の商工業復興支援のあり方 官民合同チームの意味	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 経済論叢 (京都大学)	6. 最初と最後の頁 60-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計141件 (うち招待講演 61件 / うち国際学会 6件)

1. 発表者名 山川充夫
2. 発表標題 福島復興とイノベーションコスト構想
3. 学会等名 第182回福島復興支援フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 原発事故後10年 もう一つのふくしま巡検資料
3. 学会等名 地誌東京研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 福島原発事故・復興政策の検証視点
3. 学会等名 日本地理学会2021年秋季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 東日本大震災・原発災害とふるさと創造学/未来創造学
3. 学会等名 日本学術会議地域研究委員会地域学分科会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 福島原発災害復興とふるさと創造学 フィールドワークでの「地理総合」との接続
3. 学会等名 防災推進国民大会 2021 セッション日本学術会議公開シンポジウム / 第 12 回防災学術連携シンポジウム「防災教育と災害伝承」との接続（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 原発廃炉と地域経済と産業支援 特定原子力施設地域・福島県の場合
3. 学会等名 帝京大学地域活性化研究センター研究会（2021年度）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 原発災害復興と地域経済循環 福島県相双地域
3. 学会等名 東北大学イノベセンター研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 東日本大震災・原発災害と福島復興支援研究の道 福島大学うつくしまふくしま未来支援センターFUREが果たした役割
3. 学会等名 福島大学うつくしまふくしま未来支援センターシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 原発被災地の経済復興とイノベーションコスト構想 = 福島ロボット・テスト・フィールドの今 =
3. 学会等名 みやぎボイス2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 福島原発事故と復興政策-10年間検証の地域経済学視点-
3. 学会等名 日本学術会議 防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会 防災学術連携体（58学会）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 福島原発事故と地域経済復興 福島イノベーション・コースト構想の可能性
3. 学会等名 帝京大学地域経済政策研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 福島原発事故・復興10年の今
3. 学会等名 日本学術会議地球惑星科学委員会地球人間圏分科会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 地域ビジョンと共同・協同・協働
3. 学会等名 地域ビジョンフォーラム2020（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふたばランドデザイン再考
3. 学会等名 帝京大学地域経済政策研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふくしま復興デザイン再考 - 原発事故被災地の10年目の今とこれから -
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム 第9回防災学術連携シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふくしまランドデザイン再考
3. 学会等名 基礎経済科学研究所 経済理論学会 日本地域経済学会 経済地理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 シンポジウム「原子力災害被災地 これまでの10年とこれからの10年」コメンテーター
3. 学会等名 日本地理学会 2021年秋季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大平佳男
2. 発表標題 再生可能エネルギーの地域内での利用促進に関する研究
3. 学会等名 帝京大学地域経済政策研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 津波災害の記録とその防災への活用
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2021年大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 福島県浜通りにおける原子力災害のアーカイブズ化
3. 学会等名 日本地理学会 2021年秋季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 原子力災害被災地における資料収集と管理・保全
3. 学会等名 デジタルアーカイブ学会第6回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村洋介
2. 発表標題 オンラインでの地形・地質調査～平成30年7月豪雨における広島の3300ヶ所の崩壊を事例として～
3. 学会等名 国際ICT利用研究学会 第1回特別研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中村洋介
2. 発表標題 次の地震災害に備えて
3. 学会等名 第75回地学団体研究会総会シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 コロナ禍の下での地域経済の動向 - 福島県南相馬市原町区における2020年2 - 7月期の調査を基に -
3. 学会等名 東北地理学会2021年春季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 東日本大震災後の商工業事業者の対応とBCP（事業継続計画）整備状況－福島県南相馬市原町地域を事例として－
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2021年大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 シンポジウム「原子力災害被災地 これまでの10年とこれからの10年」コメンテーター
3. 学会等名 日本地理学会 2021年秋季学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 COVID-19の流行が修学旅行に与えた影響
3. 学会等名 立正地理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 COVID-19の流行にともなう教育旅行の地域構造変化
3. 学会等名 東北地理学会 研究集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 COVID-19の流行が福島県を着地とする教育旅行に与えた影響
3. 学会等名 日本観光研究学会東北支部大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 COVID-19流行下における福島県の温泉旅館の動向
3. 学会等名 日本観光研究学会東北支部大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 COVID-19流行下における東北地方の温泉地の動向
3. 学会等名 日本観光研究学会東北支部大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 地域住民が中心となって創り上げるふるさと学習 - 福島県川内村における川内コミュニティ未来プロジェクトの活動 -
3. 学会等名 日本生活科・総合的学習教育学会 全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 教職専門科目と教科教育法との連携 - 福島大学人間発達文化学類における地理的分野を事例に -
3. 学会等名 日本社会科教育学会 全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 ふくしま餃子の観光化
3. 学会等名 日本フードツーリズム学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 原爆（戦争）経験の継承論からみる震災経験の伝承
3. 学会等名 日本地理学会2021年秋季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤本典嗣
2. 発表標題 東日本大震災・福島原発事故と曹洞宗寺院の級階変化
3. 学会等名 経済地理学会関東支部・関西支部7月例会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地域公共交通のプライシング戦略 - 地方都市における実践 -
3. 学会等名 JcoMaaS2021年6月期研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 観光による地域公共交通の変化
3. 学会等名 「東北の次世代観光交流」研究グループ 第3回研究集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 神谷一生・中村洋介
2. 発表標題 日本全国の活断層における撓曲帯の土地利用と勾配の関係について
3. 学会等名 第11回 国際ICT利用研究学会 研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 高木 亨
2. 発表標題 記憶の継承・満洲大日向村訪問とその意味
3. 学会等名 佐久穂町公民館令和3年度第1回文化芸術講座（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三村 悟
2. 発表標題 小島嶼国のサステナビリティを高める環境・防災分野の開発の取組み
3. 学会等名 太平洋諸島学会第8回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mimura Satoru
2. 発表標題 Disaster Waste Management in Small Island Developing States
3. 学会等名 7th 3R International Scientific Conference on Material Cycles and Waste Management (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mimura Satoru
2. 発表標題 Disaster Risk Reduction and Quality Infrastructure for Resilience of Small Islands
3. 学会等名 International Conference on Disaster Resilient Infrastructure 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高木 亨
2. 発表標題 熊本学園大学のボランティアの状況
3. 学会等名 Gakuvoオンラインセミナー コロナ禍での学生災害ボランティア 熊本の2大学に聞く会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高木 亨
2. 発表標題 北陸の醤油 甘いかしょっぱいか
3. 学会等名 進化経済学会観光研究部会 第44回研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高木 亨
2. 発表標題 災害後の復興過程 支援のあり方を通じて考える
3. 学会等名 吉備地方文化研究所シンポジウム「災害と地理学」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井出明・高木 亨
2. 発表標題 ダークツーリズムを援用した災禍の継承
3. 学会等名 2021年進化経済学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 東日本大震災からの産業復興に地理学が果たした役割
3. 学会等名 日本地理学会 2021年春期学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 柳沼賢治
2. 発表標題 災害の経験とその伝承
3. 学会等名 郡山市開成館ボランティア研修（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 東日本大震災における災害アーカイブズの構築とその課題
3. 学会等名 大熊町社会教育研修会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川充夫
2. 発表標題 東日本大震災原発災害の復興ジレンマ 8 年目
3. 学会等名 地誌東京研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山川充夫
2. 発表標題 原発災害の復興ジレンマ
3. 学会等名 関西学院大学災害復興制度研究所/避難・疎開研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山川充夫
2. 発表標題 ドイツ・フィリップスブル原発廃炉から何を学ぶか
3. 学会等名 第4回ふたばの交流・関係人口拡大を考える会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 地域ビジョンと共同・協同・協働
3. 学会等名 宇都宮市豊郷地区センター「地域まちづくり講座地域ビジョンフォーラム2020」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふたばランドデザイン再考
3. 学会等名 帝京大学地域活性化研究センター2019年度第3回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふくしま復興デザイン再考
3. 学会等名 日本学術会議防災学術連携体 第9回防災学術連携シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 ふくしま復興ランドデザイン再考
3. 学会等名 基礎経済科学研究所・経済理論学会・日本地域経済学会・経済地理学会主催「ふたたび福島で考える 3・11から10年を前にして」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地方都市における乗合バスの運賃体系構築に関する実証分析
3. 学会等名 第60回土木計画学研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地方公共交通におけるプライシングの論点
3. 学会等名 第60回土木計画学研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 非誘導区域での交通政策
3. 学会等名 2019年度日本建築学会大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地方部におけるMaaS構築の論点 - 乗用タクシーの定額サービス導入に着目して -
3. 学会等名 第22回日本福祉のまちづくり学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地方部における乗用タクシーの定額制サービス導入可能性の検討 - 福島県南相馬市のケーススタディ -
3. 学会等名 第39回交通工学研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地方部におけるMaaS構築の課題と可能性 タクシーのサブスクリプションに着目して
3. 学会等名 第59回土木計画学研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木亨
2. 発表標題 被災地にある大学だからできる支援例 熊本学園大学ボランティアセンターの活動から
3. 学会等名 (一財)私学研修福祉会・日本私立大学協会 2019年度(第65回)学生生活指導主務者研修会 第3日目 7. 事例発表.(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高木亨
2. 発表標題 地域は回る 田中啓爾の地位層と歴史の重層性
3. 学会等名 令和元年度 熊本学園大学秋期公開講座 有為転変~様々な「循環」を考える.(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 札幌市立中学校における修学旅行先の選択に関する一考察
3. 学会等名 北海道地理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 福島県における東日本大震災後の宿泊業の変容
3. 学会等名 日本観光研究学会東北支部大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 福島県喜多方市における製造業の特性
3. 学会等名 東北地理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 熊本地震前後における熊本地域製造業の変化
3. 学会等名 立正地理学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 8年間の実態調査から見える震災後の南相馬市の産業復興
3. 学会等名 経済地理学会北東支部例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 HATSUZAWA, Toshio
2. 発表標題 Some characteristics and problems of the earthquake education practices in Japan
3. 学会等名 International Congress of Geography Education 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 福島県中通り地域(阿武隈川流域)における台風19号がもたらした産業被害
3. 学会等名 日本地理学会台風19号緊急報告会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 福島県本宮市における令和元年台風19号被災地域の商店再開状況
3. 学会等名 日本地理学会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 初澤敏生・天野和彦
2. 発表標題 災害時にコミュニティFMが果たす役割 - 令和元年台風19号へのULTRA FM (福島県須賀川市) の対応を例に -
3. 学会等名 日本地理学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大平佳男
2. 発表標題 地域主体による災害時の再生可能エネルギー設備の活用に関する一考察
3. 学会等名 日本地域経済学会第31回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村洋介
2. 発表標題 自然災害科学の有効性と限界
3. 学会等名 ゲーテ自然科学の集い (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村洋介・関沼 駿
2. 発表標題 仙台市街地における長町-利府線断層帯直上の建物分布の調査
3. 学会等名 2019年度国際ICT利用研究学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬戸真之・中村洋介
2. 発表標題 2019年山形県沖地震（M6.7）の被害調査（速報）
3. 学会等名 日本地理学会2019年度秋季学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村洋介
2. 発表標題 海外の災害から日本を考える
3. 学会等名 山形探求の会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中村洋介・香内彩夏
2. 発表標題 15万フライトの解析にもとづく、日本の主要空港発着便における気象と欠航率の関係
3. 学会等名 IIARS第7回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 原発事故後のコミュニティ形成に関する実証的研究
3. 学会等名 日本災害復興学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本典嗣
2. 発表標題 福島原子力災害からの復興政策と課題-震災から8年を経過して
3. 学会等名 日本計画行政学会第42回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本典嗣
2. 発表標題 被災地におけるフードデザート問題－移動販売の途上国への転用について
3. 学会等名 東洋大学国際共生社会研究センター「開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現」東洋大学重点研究推進プログラム採択記念シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本典嗣
2. 発表標題 除染集約型復興政策と避難区域縮小 福島原発事故における予算制約原理の貫徹
3. 学会等名 基礎経済科学研究所・経済理論学会・日本地域経済学会・経済地理学会主催「ふたたび福島で考える 3・11から10年を前にして」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柳沼賢治
2. 発表標題 東日本大震災をアーカイブする - 災害の記憶を未来に伝えるには -
3. 学会等名 安積歴史塾（郡山市）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 東日本大震災の記憶を残す活動からみた原子力災害
3. 学会等名 日本平和学会2019年度春期研究大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 東日本大震災後に生じた地域文化を残す活動とその特徴：浪江町民の活動を事例に
3. 学会等名 日本社会学会第92回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 長崎における語り継ぎ実践と原爆体験の思想化
3. 学会等名 RECNA長崎被爆・戦後史研究会 公開・総括「シンポジウム私たちは何を継承すべきか 長崎の被爆・戦後史研究から見えてくるもの」 （招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 原子力災害と災害アーカイブズ構築
3. 学会等名 日本計画行政学会2019年度全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 東日本大震災被災地における災害アーカイブズ構築の現状
3. 学会等名 智山伝法院研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 東北地方太平洋沖地震による津波被害と複合災害アーカイブズの構築
3. 学会等名 災害時応援協定締結事業者研修会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山川充夫
2. 発表標題 原発集団訴訟と日本学術会議諸提言
3. 学会等名 日本地域経済学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 YAMAKAWA Mitsuo
2. 発表標題 Japan's Dilemma and Recommendations of Science Council of Japan
3. 学会等名 AMCDRR event number 59
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 東日本大震災学術調査研究とアーカイブズ 日本学術会議『提言』から
3. 学会等名 日本学術会議（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山川 充夫
2. 発表標題 東日本大震災原発災害の復興ジレンマ 8 年目
3. 学会等名 日本学術会議第7回防災学術連携体
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 初澤 敏生
2. 発表標題 福島県南相馬市原町区における震災後の製造業の動向
3. 学会等名 経済地理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 初澤 敏生
2. 発表標題 避難児童が取り組む「ふるさと学習」 - 福島県の「ふるさと創造学」を例にー
3. 学会等名 日本生活科・総合的学習教育学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 会津若松まちづくり株式会社による歴史・文化発信事業 - まちづくり株式会社と博物館の連携に着目して -
3. 学会等名 東北地理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 初澤敏生
2. 発表標題 福島市の宿泊業経営に関する予察的考察
3. 学会等名 日本観光研究学会東北支部
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 『まち』を元気にする公共交通の力 - 新たなモビリティサービスを地域づくりに活かす -
3. 学会等名 会津若松市地域公共交通フォーラム・中心市街地活性化セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地域復興を支えるモビリティ・イノベーション
3. 学会等名 第147回ふくしま復興支援フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 観光地域のモビリティ戦略 - 旅行者の回遊性向上を図るために -
3. 学会等名 飯坂温泉観光振興にかかる講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 「おでかけ」を楽しめる地域をどう創りだすか？
3. 学会等名 新しい東北 交流イベント「おでかけソンから広がる，地域の楽しい移動」シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 東北中央道と地域活性化 - 地域経済循環と観光地域づくりに着目して -
3. 学会等名 福島県町村議会議長会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 観光者と地域を結びつける公共交通の可能性
3. 学会等名 平成30年度日本観光研究学会東北支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 超高齢社会の交通まちづくり - 情報技術の可能性と限界から考える -
3. 学会等名 福島高校Tracer's Lab (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田 樹
2. 発表標題 地域公共交通のデザインからまちづくりを考える
3. 学会等名 福島県都市計画協会平成30年度まちづくり講習会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本典嗣他 4 名
2. 発表標題 福島原子力災害からの復興政策と課題 震災から 7 年を経過して
3. 学会等名 日本計画行政学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本典嗣
2. 発表標題 福島原発事故における除染事業計画と予算制約
3. 学会等名 建築学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大平佳男
2. 発表標題 再生可能エネルギーと地域再生
3. 学会等名 仙台防災未来フォーラム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤彰彦
2. 発表標題 震災と人権について－原発事故災害にみる周囲の「不理解」に着目して
3. 学会等名 石川県人権教育指導者養成研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤彰彦
2. 発表標題 「おせつべとみおか」の5年間をふりかえって
3. 学会等名 2018年度「おせつべとみおか」報告会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 復興の向こう側にあるもの　ふくしま連携復興センターの取り組み.
3. 学会等名 日本災害復興学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 福島を抱える状況と今後の課題
3. 学会等名 愛知県生活協同組合連合会研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 公民館・学習センターが創る 地域の未来
3. 学会等名 福島地方公民館連絡協議会 職員研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 てんえいの未来を築くために
3. 学会等名 てんえい・未来づくり会議（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 住民主体でつくる 災害に強いまちづくりーいつか来るその日のために
3. 学会等名 徳島県 防災と人権講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 防災について考える 「自ら創る安全・安心」
3. 学会等名 福島市シニアライフ・ワーク研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 人を紡ぐ いのちを紡ぐ -いま地域で生きるために大切なこと-
3. 学会等名 和歌山県西牟婁郡PTA研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 社会教育の学びが生み出す地域力 教訓に学び、活かす
3. 学会等名 福島県立博物館トークイベント（被災地の学び）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 被災地災害対策本部の実態と問題点及びそれらを踏まえた国等のプッシュ型支援について
3. 学会等名 葛飾区職員研修会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 天野和彦
2. 発表標題 いのちを守る視点－男女共同参画の視点を踏まえた防災と減災
3. 学会等名 伊達市男女共同参画講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 災害記録の後世への伝承とその諸問題
3. 学会等名 福島復興支援フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 東日本大震災における震災記録誌の編纂と災害アーカイブズの構築
3. 学会等名 日本計画行政学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki SETO, Song-Hyun KIM and Yukiya TANAKA
2. 発表標題 The Role of Hydrological Environments in Formation of Block Stream
3. 学会等名 The 15th East Eurasia International Workshop（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masayuki SETO
2. 発表標題 Record and Archive of the Great East Japan Earthquake -The Present Condition in Fukushima-
3. 学会等名 The 13th China-Japan-Korea Joint Conference on Geography (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 震災・復興に関わるアーカイブズ構築の目的と課題 - 収集現場から見てきたもの -
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム「震災・復興資料のアーカイブズ化の現状と今後の課題」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 瀬戸真之
2. 発表標題 原子力災害被災地における資料収集と管理・保全
3. 学会等名 国立国会図書館意見聴取会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 瀬戸真之・Kim-Song Hyun・田中幸哉
2. 発表標題 韓国南東部マノ山における水文観測およびUAV画像の解析
3. 学会等名 日本地形学連合2018年度秋季学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳沼賢治
2. 発表標題 歴史・文化資源を護り、伝える 東日本大震災の経験から
3. 学会等名 ふくしま被災地スタディツアー（福島大学）（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柳沼賢治
2. 発表標題 東日本大震災と関連資料の収集 福島県の取り組み
3. 学会等名 第8回被災地図書館との震災史料の収集・保存に係わる情報交換会（神戸大学図書館）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柳沼賢治
2. 発表標題 アーカイブズによる伝承 震災関連資料収集の取り組み
3. 学会等名 災害文化研究会・岩手大学地域防災研究センター（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 なぜ、広島で原爆のことを学ぶのか？ そして、私たちができることとは何なのか？：修学旅行 事前学習資料
3. 学会等名 東京都立瑞穂農芸高等学校（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 福島の復興の歩みと現状について：震災アーカイブ資料収集の現場から
3. 学会等名 福島県須賀川市教育委員会研修（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 東日本大震災の記憶を残す活動からみた原子力災害
3. 学会等名 熊本学園大学・福島大学合同シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 深谷直弘
2. 発表標題 原爆体験を伝えることとビジュアル資料の活用
3. 学会等名 写真・映像展示 日常のまなざし 昭和20年代、進駐軍が見た日本の街角（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三村 悟
2. 発表標題 Cooperation on Sustainable Development in the Pacific Islands
3. 学会等名 (独)日本貿易振興機構・アジア経済研究所主催国際シンポジウム「グローバリゼーションの波とともに：太平洋島嶼国の持続的開発と新たな地域主義」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 MIMURA Satoru
2. 発表標題 Preparedness for Disaster Waste and Build Back Better
3. 学会等名 Asian Ministerial Conference on Disaster Risk Reduction, Enhancing Resilience through Disaster Waste Management and Building Back, Ulaanbaatar, Mongolia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村洋介
2. 発表標題 近年の地震災害と東北方活断層について
3. 学会等名 第45回技術士全国大会2018応用理学部会in福島
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村洋介・澤田裕哉
2. 発表標題 南東北（宮城・山形・福島）の活断層近傍における公共施設の分布と危険度
3. 学会等名 国際ICT利用学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 金子彩・中村洋介
2. 発表標題 東日本主要温泉地35箇所における足湯施設の諸比較
3. 学会等名 国際ICT利用学会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計11件

1. 著者名 帝京大学地域経済学科編集委員会	4. 発行年 2022年
2. 出版社 八潮社	5. 総ページ数 280
3. 書名 「地域」の学び方	

1. 著者名 土木学会斜面工学研究小委員会	4. 発行年 2022年
2. 出版社 土木学会	5. 総ページ数 171
3. 書名 知っておきたい斜面のはなしQ & A 2 斜面の災害に備える	

1. 著者名 地域政策研究プロジェクト	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 196
3. 書名 地域公共交通政策の新展開	

1. 著者名 高木竜輔、佐藤彰彦、金井利之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 第一法規	5. 総ページ数 412
3. 書名 原発事故被災自治体の再生と苦悩 富岡町10年の記録	

1. 著者名 山川 充夫、初澤 敏生	4. 発行年 2021年
2. 出版社 八潮社	5. 総ページ数 488
3. 書名 福島復興学	

1. 著者名 尾松亮、乾康代、今井照、大城聡	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋書店新社	5. 総ページ数 240
3. 書名 原発「廃炉」地域ハンドブック	

1. 著者名 吉原直樹・山川充夫・清水 亮・松本行真	4. 発行年 2020年
2. 出版社 六花出版	5. 総ページ数 846
3. 書名 東日本大震災と 自立・支援 の生活記録	

1. 著者名 吉田 樹（編著）、城福 健陽、藤垣 洋平、阿部 政貴、牧村 和彦（著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 地域科学研究会	5. 総ページ数 222
3. 書名 MaaS日本版 開発・活用と地域活性	

1. 著者名 山川 充夫、瀬戸 真之編著	4. 発行年 2018年
2. 出版社 八潮社	5. 総ページ数 309
3. 書名 福島復興学	

1. 著者名 天野和彦（さすけなぶる研究会）編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 福島大学つくしまふくしま未来支援センター	5. 総ページ数 40
3. 書名 さすけなぶる研究会報告書（防災教育教材開発プロジェクト）2018年度	

1. 著者名 深谷直弘	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 247
3. 書名 原爆の記憶を継承する実践	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 彰彦 (Satou Akihiko) (00634974)	高崎経済大学・地域政策学部・教授 (22301)	
研究分担者	初澤 敏生 (Hatsuzawa Toshio) (10211476)	福島大学・人間発達文化学類・教授 (11601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	瀬戸 真之 (Seto Masayuki) (10386518)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員准教授 (11601)	
研究分担者	三村 悟 (Mimura Satoru) (10648926)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員教授 (11601)	
研究分担者	大平 佳男 (Ohira Yoshio) (10649651)	帝京大学・経済学部・准教授 (32643)	
研究分担者	高木 亨 (Takagi Akira) (20329014)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員准教授 (11601)	
研究分担者	尾松 亮 (Omatsu Ryo) (30787619)	東洋大学・国際共生社会研究センター・客員研究員 (32663)	
研究分担者	吉田 樹 (Yoshida Itsuko) (60457819)	福島大学・経済経営学類・准教授 (11601)	
研究分担者	柳沼 賢治 (Yaginuma Kenji) (60783074)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員教授 (11601)	
研究分担者	深谷 直弘 (Hukaya Nohiro) (60817667)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・客員准教授 (11601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	中村 洋介 (Nakamura Yosuke) (80386515)	福島大学・人間発達文化学類・教授 (11601)	
研究分担者	天野 和彦 (Amano Kazuhiko) (80649533)	福島大学・うつくしまふくしま未来支援センター・特任教授 (11601)	
研究分担者	藤本 典嗣 (Fujimoto Noritsugu) (90455907)	東洋大学・国際学部・教授 (32663)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関